

十字架①

シリーズ～続 福音の力～

2021/3/21

これまでのあらすじ

- オリーブ山での祈り
- 捕らえられ大祭司邸へ連行される
- ペトロのしくじり
- 最高法院(サンヒドリン)での告発
- ピラトによる最初の審判
- ヘロデのもとでの告発
- ピラトによる2度目の審判
 - ピラトは3度イエス様の無罪を主張したが、人々の「十字架につけろ」という要求に負けた

十字架の出来事(四福音書の比較)

	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
兵士による侮辱(茨の冠)	○	○		
シモンに十字架を背負わせる	○	○	○	
エルサレムの婦人たちに			●	
「されこうべ」と呼ばれる場所で十字架につけられる	○	○	○	○
没薬を混ぜたぶどう酒を拒絶する	○	○		
父よ、彼らをお赦してください			●	
兵士が服を分け合う	○	○	○	◎
罪状書き	○	○	○	◎
二人の犯罪人	○	○	◎	
民衆らによる侮辱	○	○	○	

十字架の出来事(四福音書の比較)

	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
母マリアと弟子				●
全地が暗くなる	○	○	○	
最後の言葉・絶命	○	○	○	○
神殿の垂れ幕が裂ける	○	○	○	
脇腹を槍で突く				●
死者の復活	●			
百人体長の告白	○	○	○	
見守っていた人たち	○	○	○	
墓に葬られる	○	○	○	○
墓を見張る	●			

ルカ福音書23章26～31節

人々はイエスを引いて行く途中、田舎から出て来たシモンというキレネ人を捕まえて、十字架を背負わせ、イエスの後ろから運ばせた。民衆と嘆き悲しむ婦人たちが大きな群れを成して、イエスに従った。イエスは婦人たちの方を振り向いて言われた。「エルサレムの娘たち、わたしのために泣くな。むしろ、自分と自分の子供たちのために泣け。人々が、『子を産めない女、産んだことのない胎、乳を飲ませたことのない乳房は幸いだ』と言う日が来る。そのとき、人々は山に向かっては、『我々の上に崩れ落ちてくれ』と言い、丘に向かっては、『我々を覆ってくれ』と言い始める。『生の木』さえこうされるのなら、『枯れた木』はいったいどうなるのだろうか。」

ヴィア・ドロローサ(苦難の道)

- (兵士による侮辱)
 - 「兵士たちは、…イエスに紫の服を着せ、茨の冠を編んでかぶらせ、…また何度も、葦の棒で頭をたたき、唾を吐きかけ、ひざまずいて拝んだりした。」
マルコ15:16-19
- キレネ人シモンに十字架を背負わせる
 - たまたまエルサレムに来ていた男
 - 鞭打たれ(ヨハネ)弱っていたイエス様の代わりに十字架を背負う
 - 後に一家で弟子に加わったと思われる

エルサレムの婦人たちに

- 婦人たちにかけられた言葉
 - 「エルサレムの娘たち、わたしのために泣くな。むしろ、自分と自分の子供たちのために泣け。」
 - エルサレムに下される悲劇(19章) > 70年に成就
 - 「山に向かつては、『我々の上に崩れ落ちてくれ』と言い」 > 自らの死を願うほどの苦しみ
 - 「『生の木』さえこうされるのなら、『枯れた木』は…」 > やがてくる最後の裁きの厳しさへの言及か？
- 最悪の状況下でも憐れみに溢れるイエス様
 - 侮辱され、鞭打たれ、死を目前にしても…

ルカ福音書23章32～38節

ほかに、二人の犯罪人が、イエスと一緒に死刑にされるために、引かれて行った。「されこうべ」と呼ばれている所に来ると、そこで人々はイエスを十字架につけた。犯罪人も、一人は右に一人は左に、十字架につけた。〔そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」〕人々はくじを引いて、イエスの服を分け合った。民衆は立って見つめていた。議員たちも、あざ笑って言った。「他人を救ったのだ。もし神からのメシアで、選ばれた者なら、自分を救うがよい。」兵士たちもイエスに近寄り、酸いぶどう酒を突きつけながら侮辱して、言った。「お前がユダヤ人の王なら、自分を救ってみろ。」イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王」と書いた札も掲げてあった。

十字架につけられる

- 「されこうべ」と呼ばれる場所
 - ヘブライ語では「ゴルゴタ」(ルカ以外の福音書)
 - 見せしめのための処刑場
- 二人の犯罪人の真ん中に
 - まるで犯罪人の親分でもあるかのように
 - 罪状は「ユダヤ人の王」
- 十字架刑は苦しみを長引かせる死刑
 - 両手首と両足首を釘でうちつけられ、体を支えられなくなることで呼吸困難に陥って死に至る。そのため、長引く場合は48時間程度も苦しみを続けて死んだと言われる

なぜ十字架であったのか？

- 死に様を人間の目に焼き付けるため
 - 「また、聖書の別の所に、『彼らは、自分たちの突き刺した者を見る』とも書いてある。」ヨハネ19:37(ゼカリア12:10)
- 「呪われた者」となるために
 - 「キリストは、わたしたちのために呪いとなって、わたしたちを律法の呪いから贖い出してくださいました。『木にかけられた者は皆呪われている』と書いてあるからです。」ガラテヤ3:13(申命記21:23)
- 最も苦しい死に方であったから
 - 「キリストの苦しみが満ちあふれてわたしたちにも及んでいるのと同じように…」コリント二1:5

「父よ、彼らをお赦してください」

- 最も有名なイエス様の言葉だが
 - 複数の古い写本にはないので[]になっている
 - イエス様の言葉ではないと断定する証拠はない
- 自分を十字架につけた人々に対して
 - 殺そうと計画した祭司長・律法学者たち、十字架につけろと叫んだ民衆たち、裏切り・逃げた弟子たち、ローマの兵隊たち > **そして…**
- 「自分が何をしているのか知らないのです」
 - 自分たちが犯している罪の重さに全く気付いていない
 - **このためにこそイエス様は十字架に上られた**

単なる願いではない

- 唯一裁きを受ける必要のない方
 - あのピラトでさえ「この男には死刑に当たる犯罪は何も見つからなかった」と3度言った
- 「私が彼らに代わって裁きを受けますから」という言葉が背後にある
 - 罪なき方が裁かれるからこそ効力がある
 - 「キリストも一度罪のために死なれました。正しい方が悪い人々の身代わりとなったのです。」ペトロー3:18
- 十字架の上だからこそ特別な意味を持つ
 - この瞬間に全人類の罪を背負われたのか？